

年度 2007 学期 前期	曜日・校時 月曜日・2校時	必修選択 必修	単位数 2単位
授業科目/(英語名)	教養特別講義 / (Colloquium)		
対象年次 1年次	講義形態 講義・講演	教室 102・中部講堂	
対象学生(クラス等) La Ea	科目分類 共通基礎科目		
<b>担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー</b> 岡林隆敏 / Eメールアドレス: okabayas@civil.nagasaki-u.ac.jp / 研究室: 工学部 / オフィスアワー: 月曜日午後 高良真也 / Eメールアドレス: kohra@net.nagasaki-u.ac.jp / 研究室: 環境科学部 / オフィスアワー: 金3 舟越耿一 / Eメールアドレス: funakoe@net.nagasaki-u.ac.jp / 研究室: 教育学部 / オフィスアワー: 木3			
<b>担当教員(オムニバス科目等)</b>			
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> 授業のねらい: ものの見方・考え方の多様性、課題探求・学問の面白さを知るとともに、学生生活の拠点となる長崎についての多様な視点からの諸特徴について理解を深めることによって学生諸君が探求心と豊かな心を持ち、平和を支え、社会に貢献する人材となることを期待する。  授業方法 : 特別講演形式と講義形式の両建てにより行い、特別講演は学長、理事、名誉教授などが担当する。講義は、「長崎」「平和」「海洋と文化」の分野についてそれぞれ3回ずつ講義する。  授業到達目標: 特別講演により、長崎大学の理念に触れ、ものの見方・考え方の多様性、課題探求・学問の面白さを知る。講義により、学生生活の場である長崎の歴史、文化、自然を理解し、長崎大学に学ぶ学生としての自覚を促し、世界を理解する。被爆地長崎を通して平和について学び、平和を愛する豊かな人間性を育む。地球上全ての生命の維持に不可欠な海洋について学ぶ。さらに、古来より、大陸文化の伝来・発展・交流の街道の最前線であった長崎を理解する。アジアとの関係を含め、長崎の歴史、文化、平和について知識を広め互いにそれぞれの分野について議論できるようになる。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 授業内容(概要) 長崎: 長崎の都市形成史の概要を講義します。 第1回は長崎市の町立てから幕末まで、主に江戸時代の都市形成。 第2回目は近代の長崎市の都市形成、道路・港湾・水道など近代化する都市の姿を見ます。 第3回目は長崎と上海の交流を見ます。自動車・鉄道・船舶の連携による長崎の発展する様子を見ます。 映像で構成された講義です。町立てから昭和戦前期の長崎市の都市の形成の流れを理解することが講義の目的です。  平和: 1, 長崎から平和多文化共生の理念を構想する 2, 被爆都市長崎と兵器生産 3, 報復の連鎖を断つことばを求めて  海洋と文化: 第7回 6月4日 海洋と文化 高良真也 (環境科学部) 長崎の地理: 世界の中の日本、日本の中の長崎、長崎の海を再確認する。 第8回 6月11日 海洋と文化 高良真也 (環境科学部) 古代の長崎: 壱岐と対馬を中心に長崎の歴史をみていく。 第9回 6月18日 海洋と文化 高良真也 (環境科学部) 近世の長崎: 長崎を取り巻く海とキリシタン文化との関係をみていく。  第1回 4月16日 特別講演 齋藤 寛 (学長) 第2回 4月23日 長崎 岡林隆俊 (工学部) 第3回 5月7日 長崎 岡林隆敏 (工学部) 第4回 5月14日 長崎 岡林隆敏 (工学部) 第5回 5月21日 特別講演 岩永 浩 (名誉教授) 第6回 5月28日 特別講演 佐藤俊英 (名誉教授) 第7回 6月4日 海洋と文化 高良真也 (環境科学部) 第8回 6月11日 海洋と文化 高良真也 (環境科学部) 第9回 6月18日 海洋と文化 高良真也 (環境科学部) 第10回 6月25日 特別講演 石原 忠 (名誉教授) 第11回 7月2日 特別講演 今田 正 (名誉教授) 第12回 7月9日 平和 舟越耿一 (教育学部) 第13回 7月23日 平和 舟越耿一 (教育学部) 第14回 7月30日 平和 舟越耿一 (教育学部) 第15回 8月6日 特別講演 福永博俊 (教育担当理事)			
キーワード	長崎: 長崎の都市形成史 平和: 原爆 兵器生産 キリシタン弾圧 海洋と文化: 海洋貿易		

教科書・教材・参考書	長崎:参考書:岡林隆敏著:上海航路の時代、長崎文献社 平和:印刷物を配布する。 海洋と文化:特に使用しない
成績評価の方法・基準等	長崎30点、平和30点、海洋と文化30点、特別講演10点の配点とする。 長崎:毎回レポートの課題を出し、3回のレポートにより評価する。 平和:毎回のレポート各10点 海洋と文化:毎回のレポート各10点
受講要件(履修条件)	特になし
本科目の位置づけ /学習・教育目標	
備考(準備学習等)	